

獣医学共用試験準備委員会総会
-16 大学委員と代表者の認識と意識の共有化をめざして-

日時 平成 23 年 11 月 25 日（金）午後 1 時から

場所 東大農学部 3 号館 4 階教授会室

（正門正面のレンガの建物です。正面玄関から入り階段またはエレベーターで 4 階までお上がり下さい。）

1. 先行事例に学ぶ（1 時～2 時 30 分）

1) 薬学における CBT 運用・支援システムの構築に関する話題（1 時～2 時）

薬学共用試験センター理事 宮崎 智教授（東京理科大学薬学部）

2) 医学・獣医学における OSCE に関する話題（2 時～2 時 30 分）

鷺巣 月美先生（日本獣医生命科学大学）

休憩（2 時 30 分～40 分）

2. 小委員会の今後の運動方針などに関する協議（2 時 40 分～5 時までには終了）

1) 始めに：吉川全国協議会会長（10 分）

2) 共用試験：これまでの経緯と今後の進め方（この委員会の仕事）：高井（10 分）

3) ◎コアカリと CBT 問題内容検討委員会：尾崎先生（10 分）

4) 共通テキストの進捗状況（進まない科目の問題点）：橋本先生（10 分）

5) ◎CBT 問題作成委員会の進捗状況（VetCBT 実施案について）：浅井先生（20 分）

6) OSCE 準備委員会（今後の進め方）：北川先生、鷺巣先生（新井先生の代行）（10 分）

7) ◎CBT システム（兼：広報委員会）：遠藤先生、山下先生（20 分）

8) トライアル実施委員会（今後の進め方）：鎌田先生（10 分）

9) その他

限られた時間で理解を深めるために、検討すべき課題については質疑応答と検討の時間を長く取るようにしたいと思います。基本は各自 10 分以内で、概要説明と質疑応答が収まるように進めたいと存じます。